

住空間デザインコンペ Interior Design Competition

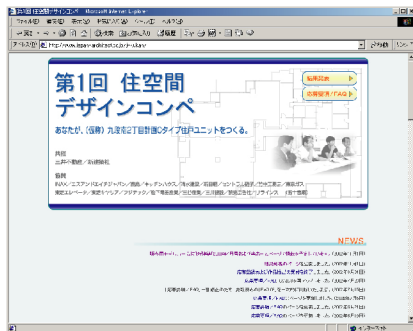
2002

2002年8月から9月にかけて「第1回住空間デザインコンペ」に取り組みました。これは、既存のマンションの1室のインテリアデザインを提案するというもので、大学院生5名が参加しました。

Subject

最近、建築家やデザイナーに居住空間の設計依頼をしてみたいというクライアントが増えています。また、デザイナーズ・マンションと呼ばれる集合住宅、マンションも増えてきました。雑誌やTVでも住空間に関する特集が多く組まれています。このコンペは、こうした変化のなかで、時代のニーズにあった「デベロッパーと建築家・デザイナーとの新しい関係」を探るひとつの機会として企画されました。いかに現実の生活を前提として「快適な居住空間」をつくり出すことができるか、あるいは、単に装飾的であるのではなく、個人の嗜好性を生かしながらも誰もが快適に感じることができる住まいとは何かを広く求められました。

実施計画が進行中の都心型マンションの1住戸を対象とし、デザイン性の高い居住空間の提案を求め、選出された最優秀案の提案者により販売用モデルルームのひとつが製作されます。このコンペでは、「快適であること、環境に配慮したものであること」、そして、「実際にモデルルームをつくるのが可能な提案」であることが条件となりました。



Communication Environment

住空間デザインコンペでは、Web上のコミュニケーションツールを使用することなく、チーム内でのコミュニケーションは全てフェイスツーフェイスミーティングで行った。いわゆるオーソドックスなミーティング形態で、図面や模型、CG、スケッチなど様々なメディアを利用してデザインを進めていきました。



ミーティング風景

